

テレビ番組連動企画

賢者の選択  
FUSION富士電波工業株式会社  
代表取締役社長

横島 俊夫

Toshio Yokohata

## 富士電波工業株式会社

[本社] 〒532-0033

大阪市淀川区新高2丁目4-36

[電話] 06-6394-1151

[HP] <http://www.fujidempa.co.jp>

● 設立: 1948年 ● 従業員数: 135名

● 代表者: 代表取締役社長 横島 俊夫

● 事業内容:

新素材・ファインセラミックス用高温焼結炉、研究開発用多目的炉、高周波真空・大気溶解炉、高周波加熱装置の開発・製造、およびソフトウェアの開発。機械器具設置工事業。特殊鋼鋳造品の製造。

# ONE'S STYLE

ワンズスタイル

SUN-TV 6/24(月)放送

兵庫・大阪

毎週月曜/22:00~22:55

YouTube ワンズスタイル公式

※ONE'S STYLEは、22:25頃からご覧頂けます。

## 進化するモノづくりの現場を電気炉で支援 積み重ねた技術を基に100年企業を目指す

独自で培った電気加熱技術を基に、世界に誇る日本のモノづくりを支える工業炉の専門企業として事業を展開する富士電波工業株式会社。昨秋に創業70周年を迎え、100年企業に向けて成長を続ける同社の展開について、代表取締役社長 横島 俊夫氏が語った。

### 高温で新たなモノを生み出す工業炉 独自の技術で優れた電気炉を開発・製造

高品質/高精度なモノづくりの現場で、さまざまな分野の研究開発や製造過程に、欠かせないのが工業炉の存在だ。

「工業炉とは、中に入れた物が燃えてなくなることを目指す焼却炉とは異なり、温度を上げることによってその中に置かれた材料の性質を向上させて、新たなモノを生み出す加熱装置のことです」(横島氏)

同社は1948年の創業当初から独自の技術を積み重ね、工業炉の分野に特化した企業として成長を遂げてきた。

「工業炉には電気エネルギーを使う電気炉と燃料を燃やして炎を熱源にする燃焼炉があります。当社は電気炉の専門メーカーです。工業炉は終戦後に産業界で鉄・非鉄金属の需要が高まったことで大きく成長しました。当時は海外のメーカーからライセンス供与を受けて製造する大企業が多かったようですが、当社の創業者は独立心が強く、独学で習得した技術を基にオリジナルの電気炉を造り上げました。誘導加熱の溶解炉の世界では、技術力に優れた会社として高い評価をいただきました」(横島氏)

### 高い技術力で困難な要望にも対応して 時代を象徴するモノづくりに深く関与

製造業を取り巻く産業界が大きく進化する中で、鉄鋼、自動車、光ファイバー、半導体など


その時代を象徴するモノづくりと深く関わりながら、同社の事業も進化を続けてきた。

「新たなモノづくりが生まれる時は、新素材の誕生を伴うことが多いもので、それぞれの素材に対応した高温炉が必要です。当社は二代目社長が1980年代に登場したファインセラミックス用に、粉末を焼き固める真空焼結炉や加熱しながら圧力をかけて同時に成型するホットプレス炉を開発して業界をリードしました。近年では、電気自動車や風力発電のモーターに採用されるネオジム磁石、半導体製造設備向けのファインセラミックス、太陽光発電、リチウムイオン電池などの研究や製造にも当社製高温炉が使われます。ときには困難なご要望もいただきますが、全力でお応えすることで、当社への信頼も技術力も上がります」(横島氏)

民間企業だけでなく、研究機関や大学の研究設備も積極的に受注している。

「通常は1000℃以上を高温炉と呼びますが、最近、大学の研究者の要望にお応えして、3400℃で熱処理できる超高温炉を開発しました」(横島氏)

同社は今後、多様性を持った人材の採用、育成を積極的に進めていく。また、ユーザーが実験や研究できるスペースを社内に設け、共同で新たな技術の開発やモノづくりに取り組み、サービス拠点の拡大も図っていく方針だ。

日本の誇る素材産業を力強く支えながら、100年企業に向けた同社の成長が続いていく。 

ONE'S STYLE とは……

躍進するリーダーの流儀スタイルに迫るドキュメンタリーです。